

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：北海道      グループ：      1班      2020.10.11

## 私立と公立の格差、 地域間格差の解消に向けて

## 【スピードと質】

### まずは全員が授業を受けられるための施策を

- 機器を持っていない生徒へタブレットの配布など  
（とにかく早く）
- 各家庭でWiFi利用にかかる費用の低減
  - 一定の収入がない家庭への補助金など
    - 国がやると調査、現状把握が難しいため、学校規模で家庭の状況を把握し、国に申請するやり方がよい
    - WiFiルーター一業者と国が連携して、安価に済むような施策
- スタディサプリなど、外部サービスの積極活用
  - サービス料金の学校割などできないか

## その後に、高い質で教えられるための施策を

- 先生の負担を軽減するための施策が必要
  - 教員になりたい人が少ない、教員の労働環境改善も合わせて進める
- 「政府の5カ年計画：情報に詳しい先生を4校に1人配置」の施策では、人数が少ない
  - 将来的に1校に1人となるよう、政府が支援してほしい

## 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：北海道      グループ：      2班      2020.10.11

# PC 上でのコミュニケーションのあり方

～パソコンを使いやすくしてコミュニケーションの可能性を広げる～

## 考えられる課題

- 先生と生徒のコミュニケーションが足りない。
- PC など ICT 機器に慣れていない人もいる。  
操作や使い方を学べる機会が少ないのではないか

# 解決方法 (1)

【先生と生徒のコミュニケーションが足りない】

- 生徒と話す先生は ICT 機器を使いこなせるような工夫, 練習.
- PC を使うだけで満足せずその先を見る.
- ツールを効果的に授業に取り込む.

# 解決方法 (2)

【ICT 機器の使い方について学ぶ機会】

- 便利で使いやすいツールの開発.
- ツールの統一.

# 提言

- ・ **科目として PC の授業を入れられないか**
  - ・ 情報科目でやるのもいい
  - ・ 最低限授業を受けるための教養として別でもいい
  
- ・ **授業外でも先生/生徒のコミュニケーションを取れるような環境を作って欲しい**
  - ・ ツールがあふれる中で便利で使いやすいツールの開発



# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：北海道      グループ：      3班      2020.10.11

## 私達が感じた I C T

## ①勉強面でのICT

〈メリット〉

- 動画は、自分が見たいところだけを観れるのが良い。  
（スタディサプリにおいて）
- レベル分けされているので、自分のペースでできること。
- PCやスマホが(生徒と学校の)架け橋になっていた。

## ①勉強面でのICT

<デメリット>

- 全員のネット環境が整っているわけではない
- 設定や接続方法がわからない人がいる
- もっと詳しく知りたいところがあっても、聞けないのは残念

# ①勉強面でのICT

## <改善点>

1. ICTの知識や設備の普及  
(zoom、google chromeの普及)
1. チャットへのAIの普及  
(質問の機能)

## ②コミュニケーションでのICT

<自粛中どう使ったか>

- 友人との連絡 (instagram,LINE)

→人間関係へのトラブルへの発展もあった

- ツイッターやInstagram等で投稿をチェック

## ②コミュニケーションでのICT

### <トラブル>

- 距離感のつかみ方
- 画面上でのやり取りの難しさ

## <注意点>

1. 対面でのコミュニケーションのほうがいい
2. 自分が何をしようとしているのか考えてから使う

## まとめ

勉強面、コミュニケーション面の両方において、メリットは今の私たちの生活においてとても大事な部分を支えてくれているものだと思います。それと比べてデメリットは、それ自体はネットの環境だったり知識は時間がかかりますがいずれ解決すると思いますし、コミュニケーションもまず考えたりと、意識をすることで解決できる問題だと思ったので、今後の発展によって私たちの生活においてとても役に立つものになると思います。



# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：北海道      グループ：      4班      2020.10.11

## コロナをきっかけに 「常識」を考え直そう

# コロナ自粛中はどうだったか

## 【学業】

- 学校から課題をもらっていた
- オンライン授業で勉強

## 【生活】

- オンラインゲームで友達と遊ぶ
  - でも、新しい出会いは...
- コンビニのお菓자에飽きて、自分で作り始めた

# ICT x 学業

- オンライン授業、スタディサプリの体験は良かった！
  - クオリティも高く「授業」を置き換えるのには十分だと感じた
  - 合う人、合わない人はいる
- 一方で、グループワークとか行事は難しい
  - 「学校」は置き換えられない

**「学校」は「学校でしかできないこと」  
に注力して欲しい！**

# ICT 機器で学習できるならば...

- なぜスマホ使用禁止の学校がある？
  - 関係ないタイミングで使うのは良くないことは、わかる
  - むしろ、学習する機会を奪っているかも
  - 授業中に遊んじゃう人は、スマホ取り上げても授業聞かないよ

**「オンライン授業」と「学校の授業」の  
両立をしたい**

# ICT x コミュニケーション

- 入学してすぐ、ライングループをつくった
  - すでにLINEがないとコミュニケーションを図るのが難しい状況...
- SNSはテキストのため、トラブルの可能性も
  - テキストだけでは、親しくなるのは難しい...
  - 親しい友人となら多少問題はないけど...

**コミュニケーションにSNSは重要  
でも、リアルで親しくなることも重要**

つまり

デジタル庁に俺を入れろ

## と言うのは冗談で

- 現代にあった考えを受け入れられる環境を作って欲しい
- 大人が新しいものを受け入れることも大事だよ
- せっかくデジタル庁とかできるのだから、積極的に若手を入れるなどするともっと ICT を活用できるのでは？

ご清聴有難うございました



## 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：北海道      グループ：      5班      2020.10.11

# ICTを用いた学校教育における 格差をなくす具体的な方法

# ICTを用いた学校教育における 格差をなくす具体的な方法

地域でICT教育に格差が出ないように その地域、自治体でICT教育が行えるような共同施設を作る

> デメリットとして学校が行うことで進歩についていけない

この解決策として ICTなどに長けた民間の講師の団体が関わっていく

# ICTを用いた学校教育における 格差をなくす具体的な方法

これに関して日本全国に施設と講師を配置するのでばらつきがある

＞交流、研修を頻繁に行うことで 一定の水準を保つ